

第2510地区 第11グループ



2007~2008

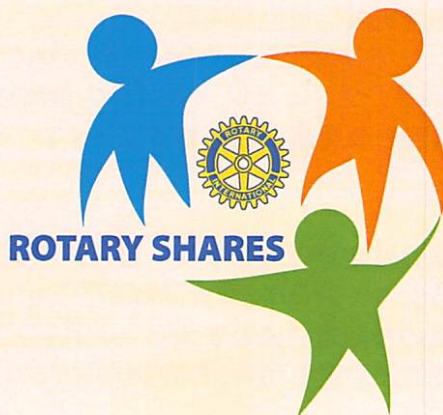
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2007~08年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは
分かちあいの心



2007~08年度
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

W. Wilkinson

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



4月16日 松見 修二 実行委員長

《第2150回例会》 第 40 号 4月23日(水)

本日のプログラム

移動例会及び職場訪問

函館空港タワー1階 会議室

★会 長 石 橋 輝 夫

★幹 事 渡 部 二 康

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870



韓国釜山萊城 R C とバナー交換

左から、和歌山城南 岡本会長、石橋会長、千葉港 林会長



手に手つないで

(会報担当者：弗田 和則 委員長)

建物清掃管理業 株式会社 国際サービス

代表取締役 阿部 誠 太

〒040-0064 函館市大手町5-10 ニチロビル
TEL (0138) 23-1408

(広告掲載：阿部 誠太 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎ 4月2日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	29名
		出席規定免除会員(a)	1名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	23名	当日欠席	6名
他クラブ出席	3名	出席合計	26名
出席率		89.66%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・4月30日
プログラム

自主休会

5月7日
卓話「地域での福祉ボランティア活動について」

函館市議会議員 能川 邦夫 氏

4 月 16 日の記録

◎司 会 石橋 輝夫 会長 ◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ビジター 函館五稜郭 R.C. 黒田博史君、辰己伸明君

◎会長報告 石橋 輝夫 会長

○和歌山城南 R C から 20 周年記念例会のお礼状が届いております。

◎幹事報告 渡部 二康 幹事

○当クラブ 4 月 30 日の例会は自主休会に変更いたします。また、次週 23 日の例会は函館空港での移動例会です。

○ロータリーワールドが届きましたので回覧いたします。

○移動例会予定：5 / 14(水)を 5 / 18(日)に移動しての家族例会。

◎親睦活動委員会 泉 彰 委員長

ニコニコ BOX 投入報告

石橋会長・渡部幹事・小笠原会員・薮下会員・柴崎会員・南木会員……暖かくなって来ました。桜の開花がまたれます。

森 会員……和歌山城南ロータリークラブに行って来ました。会員の皆様にお世話になりました。

山下(宣)会員……しばらくでした。

金田会員……4 月 24 日ホテル新装オープンのレセプションを行いますのでよろしくお願い致します。

◎「和歌山城南 RC 創立 20 周年に参加して」 松見 修二 会員

・和歌山城と桜

さくらは日本人の心の故郷と言われますが、宿泊したホテルの窓から見た城址とさくらは、実に見事に調和し、特に古建築とさくらは景観をさらに演出するものと実感しました。

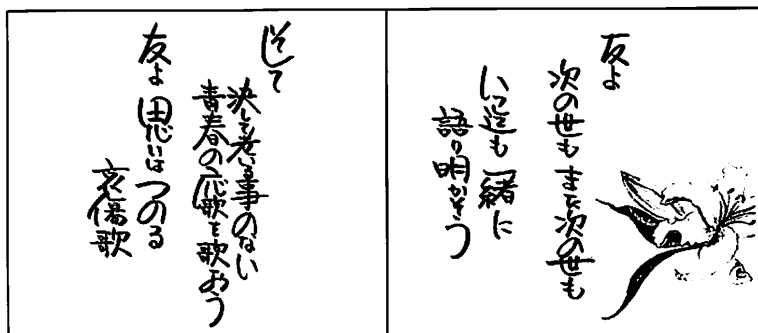
和歌山城の築城は戦国時代末期、豊臣秀吉が藤堂高虎に命じて築城させ、後に徳川家康が関が原の合戦で勝利を収め、浅野幸長を城主に定めたのが現在の和歌山城の基としています。

大手門を通り満開の桜を見ながら、歓迎会のあおい茶寮へ。

あおい茶寮は期待通りの由緒ある建物で、特に日本式庭園は見事なもので感動しました。

建物内部の座敷、廊下など随所の壁に色紙が飾られていて、仲居さんに、これはどなたの作品ですか、と尋ねたところ、女将が書いたものです、と答えが返ってきました。

宴が散会して下足が込み合うのを見て、女将に会い、色紙を購入したいとお願いしたところ、現在手持ちが無く売ることが出来ませんが、自費出版した歌集があるので、それで如何でしょうか、と返事を受け早速購入してホテルへ帰りました。



女将は（山名とも子さん）四人兄弟で育ちましたが、その中で父親が他の兄弟と違って大変心の苦勞を重ね、ある日、失語症になり、毎日の出来事を書き留めている内に歌詞が出来、作品も数百点となった折に自費出版したとのことでした。

女将の話によると、あおい茶寮は戦後に譲り受、開業して60年ほどしか経ってなく、その間随所に手を加えましたが、茶寮内で一番古いものが欄間です、どうぞご覧下さい。と言われ案内されて、紫檀で作られた花鳥風月の掘り込み欄間を見せていただきました。見事でした。今思えば、写真に撮らなかったのが残念です。

• 熊野古道と熊野本宮大社

朝7時20分ホテル出発、17時00分ホテル帰着、長い一日でした。

本宮社殿（写真④）までの60余段の階段息が切れました（写真②）。更に継桜王寺への急階段（写真⑤）、年齢を感じたのが実感です。本宮ではお社の屋根葺き材になる檜皮に署名して寄進してきました。

• 記念例会

点鐘から始まり、会長、ガバナー、親クラブ会長等々の挨拶祝辞等が有りましたが、社会奉仕として成された、『第2回和歌山市こども暗唱大会』の最優秀賞受賞発表は実に感動をしました。小学生の部で優勝した富田大輔君（写真⑧）にはその間の取り方、言葉の明瞭度に、聞く人を引き込む力と言うか、魅力に感心するばかりです。富田君は本が大好きで、毎日4時間は読書をするそうです。（本人談）

更に、群読の部、女子中学生（写真⑨）も見事でした。彼女たちは演劇部に属し顧問教師から指導を受けているそうです。

前回15周年記念事業は『新世代“共育”賞の歩み』と題して表彰式がありましたが、和歌山城南クラブは地域社会の新世代活動を目指していることが視えました。

• 雑感

今回和歌山でその土地の歴史の深さ、重さを感じました。地域の人々も常に歴史の関わりを感じ取っているようです。

